



市民が大阪市を守った これからがスタート 市民のための大阪をつくろう!!

11月1日の住民投票で大阪市廃止が再び否決されました。真剣に悩み、考え、判断をされたみなさんに感謝します。
「都構想」に期待し、「賛成」したみなさんも大阪の変化・改革を願ってのものでした。
さらに力をあわせて住民のための、新しい大阪をきずいていきましょう。

希望ある大阪の未来へ

「大阪市をよくする会」「明るい民主大阪府政をつくる会」



反対多数の判明を受け記者会見する(左から)福井朗よくする会事務局長、
荒田功明るい会事務局長、清水ただし衆議院議員、山中智子大阪市議、柳利昭党府委員長

【山中智子・党大阪市議団団長】

市民のみなさんの良識・見識に心から敬意を表したい。これで本当にノーサイド(敵味方なし)にして制度いじりではなく、市政の中身を市民の命や暮らし、営業、教育を守り、福祉を向上させるという当たり前の自治体に戻し、「この街に暮らして良かった」「大阪市を残して良かった」と思ってもらえるようにスタートを切りたい。

【大阪市廃止・特別区設置住民投票開票結果】
投票率62.35%

反対 69万2996票 (50.63%)

賛成 67万5829票 (49.37%)

市民の行動が 何よりの力

それぞれの思いを込めた手作りのチラシやポスターがつくられ、ネット・SNS上では常に「反対」が「賛成」を上回る発信がされました。自発的に街頭に立った市民一人ひとりの存在が、大阪市を守るなによりの力になりました。

草の根で 奮闘

日本共産党も加わる「大阪市をよくする会」「明るい民主大阪府政をつくる会」は、街頭での宣伝と100万人を目標にした対話活動にとりくみました。

批判あつめた 維新の手法

- 「大阪府市副首都推進局」を回答先として政党チラシに掲載
- 本来は公式に示すべきだったコスト増について、大阪府市財政局が作成した218億円資料を「ねつ造」「誤報」と攻撃
- 否決から1週間もたたずに「広域一元化条例」を主張



「反対」多数の報道に喜ぶ市民=11月1日大阪市内
しんぶん赤旗提供



10月31日の市民と野党の共同街宣=10月31日大阪市内
大阪民主新報提供



反対を広げた宣伝=10月30日大阪市内
大阪民主新報提供



市内100カ所で配布した日刊ピラ



発行:日本共産党大阪府委員会
2020年11月11日 No.366
日本共産党大阪府委員会の見解をお知らせします

大阪市阿倍野区天王寺町北2-5-19
TEL.06-6770-5044
FAX.06-6770-5047

E-mail:info@jcp-osaka.jp
URL:http://www.jcp-osaka.jp/

JCP大阪 検索



日本共産党